

皆さん初めまして！ 本誌の執筆は初めてとなります竹腰と申します。長野県上伊那郡出身、大学進学で京都へ来て早8年。大学在学中に始めた広告事業をきっかけに、観光業界の面白さと可能性を求めてKBSへ。旅行会社での実務経験を経て、この秋より着地型観光の流通支援を行うふるさと応援隊事務局を務める事になりました。趣味は料理。観光業を通じて各地の美味しい物と出会えることに喜びを感じています！ どうぞよろしくお願い致します。



11月7日は二十四節季の「立冬」。暦の上では冬を迎えます。年末年始の観光需要もいよいよ追い込みとなります。やり残しのない1年で締めくくれるよう、しっかり準備を進めたいですね。節電の冬と言われていますが、防寒対策も重要になりそうです。

営業支援部マネージャー 竹腰 幸司

## ふるさと応援隊の始動！

本誌でも何度かご紹介させて頂きました、着地型観光の流通促進プロジェクト「ふるさと応援隊」が、いよいよ9月末に京都府より認証を頂き、10月4日付でNPO法人として設立致しました！ 今回はNPO法人として発足後の活動第一弾として、ご支援させて頂きます香住の「国民宿舎ファミリーイン今子浦」さんの取り組みをご紹介します。

### ■ 漁師にしか口にできなかった魚の“本物”の味 ■

そこそこ名の知られている芸能人が旅の企画で漁村を訪れ漁師の船に乗せてもらう。釣ったばかりの魚を船の上でさばいてもらいそれを食す。「ん～！ぷりぷり！」と叫ぶ。こんなテレビ番組を見たことはないでしょうか。デパートの魚屋さん、あるいは高級なお寿司屋さんでも出会えない味、それが一隻の船の上にあった。鮮度が命。獲れたて味。素材の旨さ。地元漁師にしか食べられなかった“本物の”味に出会った瞬間です。

兵庫県美方郡香美町の国民宿舎ファミリーイン今子浦さんでは、この地元でしか食べられない“本物の味”を提供する事で宿泊客の増加に繋げようと様々な取り組みが行われています。まずカニシーズン以外の目玉商品として「真ガレイ」に注目。真ガレイは本来鮮度落ちが早く、多くが煮付けや一夜干しで食されますが、地元漁師の間では、なんと新鮮なままお刺身で食されています。この真ガレイの刺身は、筋が無く柔らかな触感と、ほのかな甘みさえ感じる事ができ、ヒラメとはまた違った美味しさ！ 漁師達だけが口にしてきたこの鮮度の高い真ガレイを同館では「香住がれい」と銘打ち、安定供給体制を構築。本当に美味しいカレイの食べ方として「香住がれいの姿造り」を商品化しました。また、真ガレイと同じく底引き網漁で採れる大ぶりのハタハタを「じゃぶ鍋」で提供。じゃぶ鍋とは、醤油を少し垂らした鍋に獲れたての魚や野菜を豪快に放り込んで食す漁師料理。これらをセットに「海鮮の極み」という会席風メニューに仕上げ、この9月より販売を開始しました。



### ■ 着地型観光の流通支援 ■

ふるさと応援隊では、今回のファミリーイン今子浦さんの取り組み「海鮮の極み」を、都会の多くの皆様に知って頂くため、京阪神の旅行会社データベースより、特定マーケットに強い約40社の旅行会社をピックアップし、営業活動を代行します。また、プレスリリースやソーシャルメディアを使った情報発信を支援し、観光地の話題作りを行う事で、集客に貢献します。

### 【ふるさと応援隊 着地型観光流通の3ステップ】

STEP 1	STEP 2	STEP 3
知られざる観光資源の発掘	特定マーケットに強い旅行会社への営業代行	話題作り・情報発信
地元の人にとっては日常に見る景色や、当たり前食文化も、他の地域の人から見たら非日常の体験。外側の視点から地域の知られざる観光資源を発掘し、商品化します。	京阪神の旅行会社データベースより、特定マーケットに強い旅行会社をピックアップ。宿泊や立ち寄りなど、旅行者ニーズに応じたプランの紹介や、観光モデルコースを紹介する提案営業を代行します。	プレスリリースやソーシャルメディアを使った情報発信を支援します。観光地の話題を創りだす事で、旅行会社が営業をしやすい環境を整えます。

## 《まだまだあります香住の魅力！ファミリーイン今子浦で過ごす一泊二日の旅日記》

大阪から福知山線、山陰本線と乗継ぎ約3時間。香住駅に到着すると、目の前に広がるのは日本海の荒波？のイメージとは程遠い、青く穏やかな海。「毎日見る景色ですから」と謙遜するのは、香住駅まで迎えに来てくれたファミリーイン今子浦の奥田氏。「あれがカエル岩って言うんですよ。」と指をさすのは、海水浴場の奥に付き出る大きな岩。なるほど、貫禄十分、殿様蛙にそっくりだ。かつては漁師たちが何日も漁に出ると無事に帰る事を願って「カエル岩」と言われたらしいが、現在は探し物がカエル、自分の性格をカエルなど、様々な事を願うパワースポットとして売り出し中だ。

宿に着いて気がつくのは、思った以上に高台に立地する事。目の前の「ゆうなぎの丘」からは海が一望でき、夕方はカップル達で賑わう。日本の夕日 100 選に選ばれている名所だ。部屋は素朴だが無駄を感じさせずそれがまた良い。夕食は言うまでもない。「香住がれいの姿造り」「ハタハタのじゃぶ鍋」はここでしか味わえない一品である。翌日は朝早くから漁港に出かける。競りを見学するためだ。漁港には水揚げされた鮮魚がずらりと並び、地元の業者が集うトリズムの良い掛け合いの中、続々と魚が競り落とされる。宿に戻り朝食の席に着くと、「さっきの競りで仕入れたものです」とテーブルに置かれたのは「イカ刺し」。新鮮なのは言うまでもない。朝から一杯欲しくなる。朝食後は山陰ジオパークを見学するため船着場に向かう。テレビでも度々紹介される三姉妹船長が運転する遊覧船に乗るためだ。この日は天気も良く、海も穏やかで快適なクルーズとなった。船から見えるのは、何百万年という長い年月をかけて浸食された岩肌。自然の彫刻のスケールに圧倒される。海面からはゴツゴツした岩が顔を出し、浅い深いを繰り返す。この複雑な地形が魚達の格好の住処となり、この地域に豊富な海の恵みをもたらしているのだろう。宿に戻ると昼食で舟盛りにされた海鮮丼を食す。山育ちの私にとってこれほど非日常な出来事はない。一泊二日の滞在が終わり、惜しい気持ちを残しながら香住を後にする。カニだけではない、この街の魅力は計り知れない！（旅人 竹腰）

### ＜ファミリーイン今子浦 基本情報＞

兵庫県美方郡香美町香住区境 548 JR 山陰本線「香住駅」より車 10 分（送迎あり）

『海鮮の極みプラン（一泊二食付き）』

- ・和室プレミア8畳（展望風呂・トイレ付き）14,175 円 / お1人様
- ・和室スタンダード8畳（バス・トイレ付き）13,335 円 / お1人様
- ・和室リーズナブル8畳（トイレ無し）12,600 円 / お1人様（休前日は 1050 円 UP）

【お問合せ】0796-36-3553



高台に立つ宿の部屋は全室オーシャンビュー。素朴だが無駄がなくゆったりとした時間が過ごせる。

## ■ 観光業界を目指す若者の育成機関「ふるさと応援塾」開講！ ■

ふるさと応援隊のもう一つの理念【人材育成】。

近年の地域活性化に興味を持つ学生の増加傾向と、学習機会を求める声から、その受け皿としての通年プログラム「ふるさと応援塾」を今月より開講します！ふるさと応援塾では、2カ月に1回程度、学生の街京都にて当社指導のもと観光ビジネスの視点からの地域活性化論や、その具体的な事例だけでなく、マーケティングや基本的なビジネススキルを学習します。また、座学だけでなくふるさと応援隊の受託する業務への就業体験等を通じた実践研修や、観光活性化に取り組む地域への現場視察を予定。未来の観光業界を担う人材を多数輩出する事を目指します！

### 【年間プログラム】

11月	オリエンテーション、地域活性化概論
12月	観光による地域活性化の具体例
2月	ゲスト講師
3月	施設研修（予定）
4月	マーケティング論①
6月	マーケティング論②
8月	マーケティング論③
9月	地域活性化コンテスト

着地型観光の流通支援と、若手人材の育成支援。この2本柱でふるさと応援隊は観光業界の活性化に貢献して参ります。今後ご指導よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 ふるさと応援隊

設立：2011年10月4日

TEL & FAX：075-708-5741

所在地：京都市中京区下古城町 376-205

ホームページ：http://furusato-ouen.com

理事長 小泉寿宏

副理事長 竹腰幸司

理事 大倉啓克

監事 谷口純平



地域の観光資源を掘り起こし、有効な PR で集客へとつなぐ。この取り組みは全国の自治体で行われていますが、残念ながら結果に結びつけるのはそう簡単ではありません。地域のまちづくり団体だけで推進するには限界があり、専門家のノウハウが求められるところです。「まち」と「若者」と「観光」を専門的につなぐ NPO 法人ふるさと応援隊は期待大ですね。（増田）

### 株式会社 KBS 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町 1-9-15-103 TEL：06-6423-5561 / FAX：06-6423-5571

東日本営業部：〒103-8246 東京都中央区日本橋 2-6-5 日本橋 2 丁目ビル 6 階 TEL：03-3246-1314 / FAX：047-426-0913

＜関連会社＞ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-6-20 マスイビル 6 階 TEL：06-6282-7226 / FAX：06-4707-3855

特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）

〒604-0044 京都市中京区小川通押小路下下古城町 376-205 TEL：075-708-5741 / FAX：075-708-5741

●代表取締役：小泉寿宏

●事業内容：観光・サービス業の経営支援

●設立：2004年4月

●地域オフィス：関西・東京